

都市計画マスタープラン策定業務 (予算額 23,613千円)		都市整備部都市計画課 計画班 (23 - 6284)
財源内訳	一般財源 23,613千円	
支出内訳	8款5項1目 都市計画総務費 / 将来都市構造検討調査委託料 23,613千円	

平成22年2月に策定された岡崎市都市計画マスタープランについて、現状や将来の変化に適切に対応するため、都市計画マスタープランの見直しやそれを補完する各計画の策定を見据えた上で将来都市構造に関する各種検討を行います。

都市計画マスタープラン改定検討調査業務

都市計画法第18条の2に定める「市町村の都市計画に関する基本的な方針」の平成30年度の改定へ向けた基礎調査等を行います。同時に、都市計画マスタープランの一部と見なされる都市再生特別措置法第81条に定める立地適正化計画についても、都市計画マスタープランとの整合を図る等の精査を行います。

都市拠点地区整備基本方針策定業務

都市再開発法第2条の3に定める都市再開発方針に準ずるものとして、都市計画マスタープランを補完しつつ、東岡崎駅周辺、康生地区、岡崎駅周辺について個性的で魅力的な都市空間の形成に資する都市拠点地区整備方針の平成30年度の策定へ向けた基本方針の策定を行います。

公共交通ビジョン基本方針策定業務

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第5条に定める地域公共交通網形成計画に準ずるものとして、都市計画マスタープランや立地適正化計画で示す長期的な将来都市構造と整合した公共交通の将来像及び施策体系等の公共交通ビジョンの平成30年度の策定へ向けた基本方針の策定を行います。

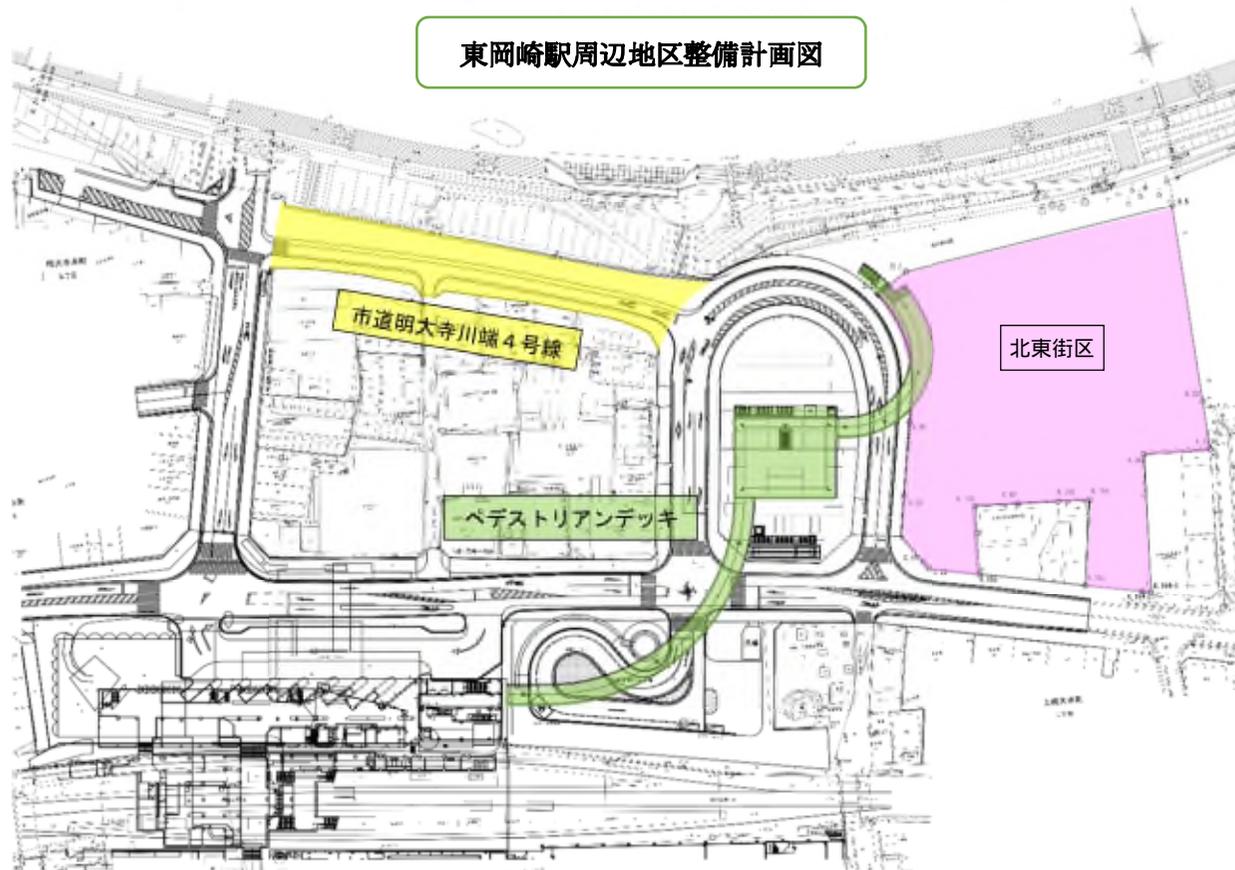
東岡崎駅周辺地区整備推進業務(予算額 1,501,926千円)

都市整備部拠点整備課
総務企画班(23 - 6452)

財源内訳	国庫支出金 385,100千円、繰入金430,000千円、市債 570,000千円、一般財源 116,826千円
支出内訳	8款5項5目 拠点整備費 / 特別旅費 184千円、土地鑑定手数料 173千円、公正証書作成手数料 330千円、登記用図面作成委託料 478千円、周辺整備調査設計委託料 15,500千円、用地補償調査委託料 30,000千円、契約等支援委託料 10,000千円、施工監理委託料 8,000千円、土地賃借料 12,252千円、周辺整備工事請負費 879,750千円、土地購入費 461,359千円、電柱移設補償金 77,000千円、水道管移設補償金 3,900千円、ガス管移設補償金 3,000千円

本市の玄関口である東岡崎駅周辺地区を「誰もが使いやすい にぎわいの交流拠点」とすることを目的としています。
 駅北口東側地区の東岡崎駅前広場、明大寺交通広場、アクセス道路、ペDESTリアンデッキの整備及び北東街区有効活用事業を平成 31 年度の供用開始を目標に、乙川リバーフロント地区整備と調整しながら進めます。

東岡崎駅周辺地区整備計画図



【主な業務・整備】

- ペDESTリアンデッキ築造工事
- 道路築造工事(市道明大寺川端4号線)
- 北東街区有効活用事業者支援

北東街区有効活用事業

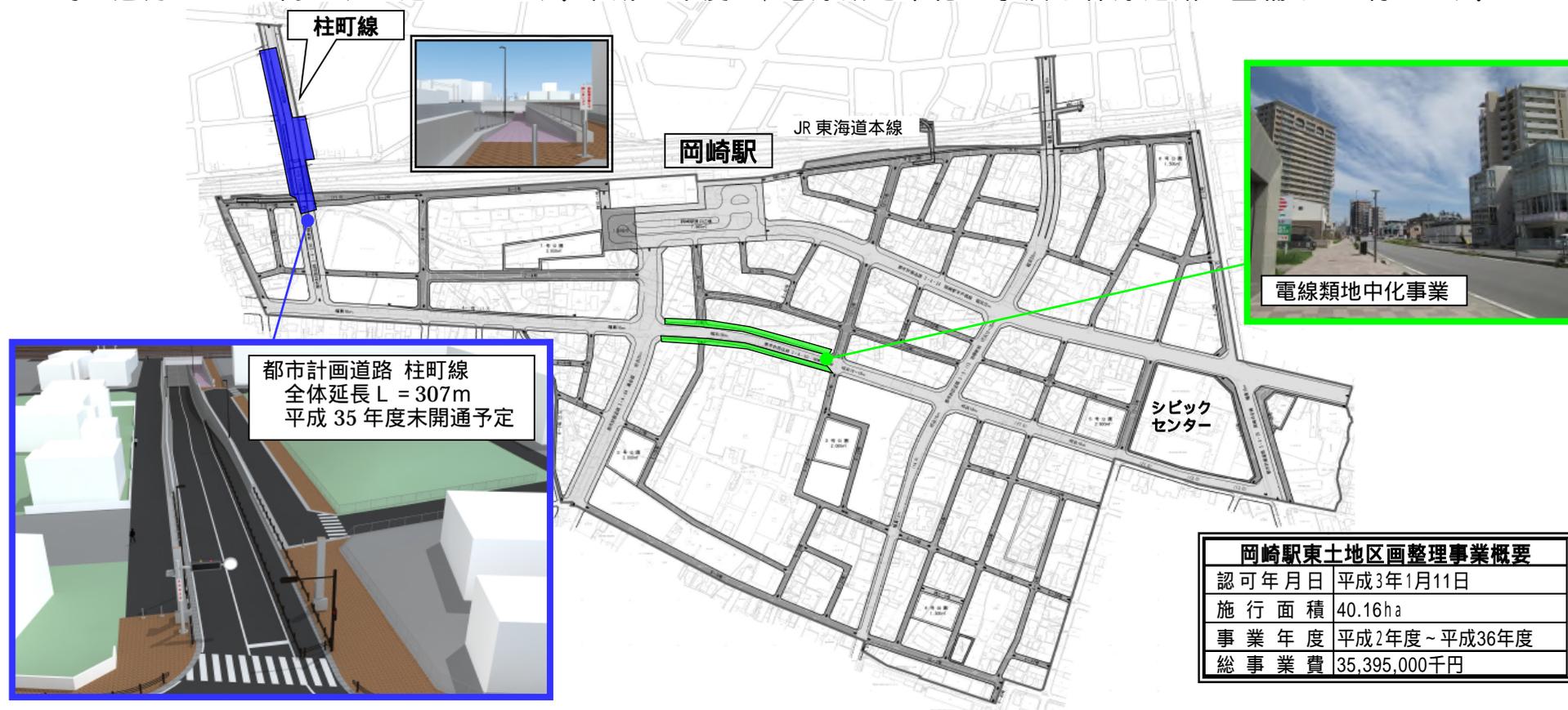


岡崎駅東地区整備業務(予算額 1,298,014千円)

都市整備部 市街地整備課
総務班(23 - 6264)

財源内訳	国庫支出金 211,750千円、県支出金 10,100千円、諸収入 94千円、市債 536,000千円、一般財源 540,070千円
支出内訳	8款7項3目 岡崎駅東地区都市改造事業費 / 口座振替データ作成手数料 800千円、架線保全手数料 900千円、換地委託料 19,192千円、区画整理測量委託料 12,819千円、工事実施設計委託料 14,904千円、電線共同溝設備工事委託料 32,487千円、事業計画変更資料作成委託料 2,722千円、道路築造工事委託料 1,014,638千円、弁明書作成委託料 5,487千円、土地賃借料 2,747千円、道路築造工事請負費 154,008千円、道路等維持工事請負費 9,908千円、信号機移設工事請負費 972千円、建物等移転補償金 12,600千円、電柱移設補償金 3,330千円、水道管移設補償金 5,500千円、ガス管移設補償金 5,000千円

岡崎駅東地区を岡崎市南部の拠点として、都市基盤・商業環境の整備、交通体系の確立、居住環境の改善を図り、個性的で魅力あふれる街づくりを進めています。平成29年度は、電線類地中化工事及び幹線道路の整備などを行います。



認可年月日	平成3年1月11日
施行面積	40.16ha
事業年度	平成2年度～平成36年度
総事業費	35,395,000千円

シビックコア地区整備業務(予算額 226,904千円)

都市整備部 市街地整備課
総務班(23 - 6264)

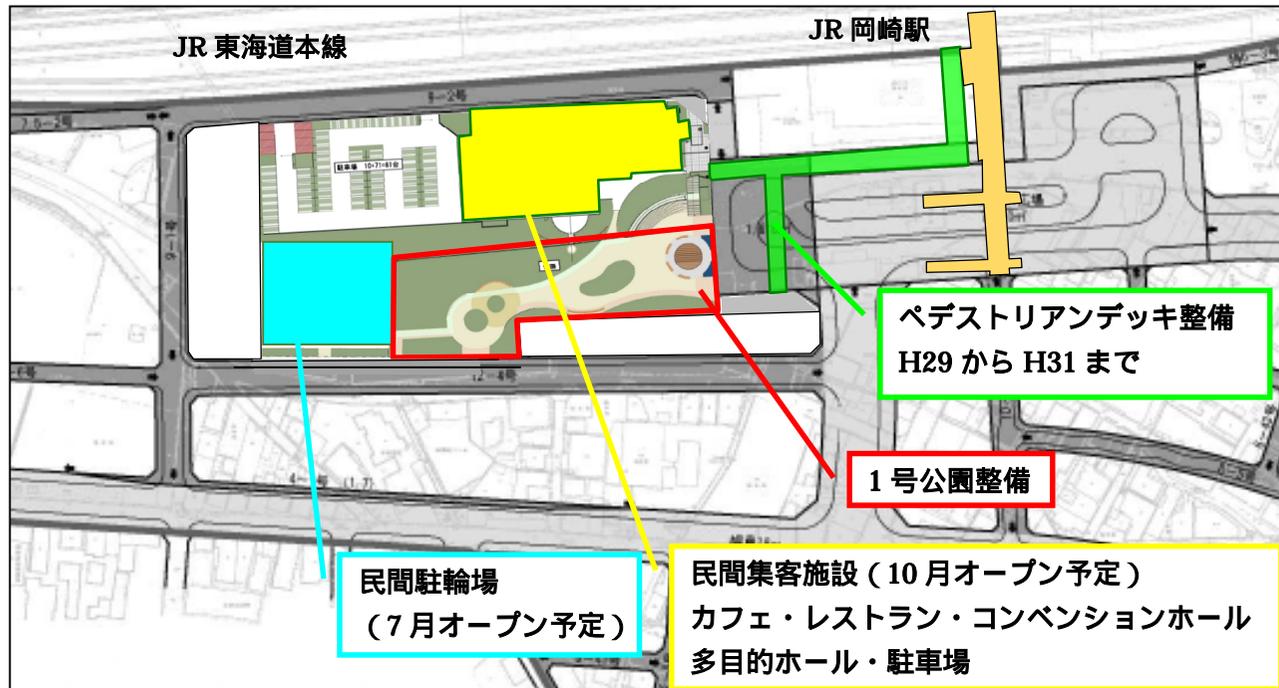
財源内訳	国庫支出金 26,000千円、土地貸付収入 10,029千円、貸付保証金預金利子 10千円、地方債 23,000千円、一般財源 167,865千円
支出内訳	8款7項3目 岡崎駅東地区都市改造事業費 / 駅前広場施設施工監理委託料 3,888千円、土地賃借料 9,824千円、公園整備工事請負費 113,940千円、交流拠点事業推進工事請負費 28,512千円、駅前広場施設整備工事請負費 25,380千円、水道分担金 471千円、優良建築物等整備事業費補助金 1,000千円、下水道受益者負担金 288千円、水道管移設補償金 23,800千円、ガス管移設補償金 3,000千円、下水道管移設補償金 4,801千円、工作物移設補償金 12,000千円

【 事業概要 】

シビックコア地区整備推進事業は、駅周辺にある市有地を活用し、民間事業者の提案を受けて新たに交流拠点の整備等を行い、岡崎駅前の魅力あるまちづくりを進めています。



民間集客施設・駐輪場
1号公園整備



民間駐輪場
(7月オープン予定)

民間集客施設(10月オープン予定)
カフェ・レストラン・コンベンションホール
多目的ホール・駐車場

ペDESTリアンデッキ整備
H29 から H31 まで

1号公園整備



ペDESTリアン
デッキ整備

景観環境まちづくり推進業務(予算額 14,331千円)

都市整備部都市計画課
景観推進班(23 - 6263)

財源内訳	一般財源 14,331千円
支出内訳	8款5項2目 都市景観環境費 / 委員報酬 903千円、費用弁償 50千円、食糧費 9千円、印刷製本費 1,440千円、揮毫手数料 6千円、 景観重要建造物等標識製作委託料 368千円、景観調査委託料 4,000千円、景観まちづくり推進費補助金 90千円、景観形成補助金 7,000千円、 おかざき景観賞実行委員会事業負担金 465千円

景観法、岡崎市景観計画及び岡崎市水と緑・歴史と文化のまちづくり条例に基づき、景観形成の規制誘導や支援を行い、本市固有の景観の保全・整備により、美しく風格ある岡崎の創生を実現します。

景観形成補助金 (7,000千円)

景観計画に基づく景観形成重点地区において、配慮指針や基準に適合する建造物又は景観重要建造物の修理・修景に対して、支援を行います。



景観調査委託料 (4,000千円)

まちなかを対象に、建造物の現況調査や景観に対する住民等関係者の意識調査を行い、地区の景観形成方針や基準策定に向けた調査・検討を行います。



新規	本宿駅周辺地域拠点整備業務 (予算額 12,000千円)	都市整備部都市計画課 計画班 (23 - 6284)
財源内訳	一般財源 12,000千円	
支出内訳	8款5項1目 都市計画総務費 / まちづくり事業調査委託料 12,000千円	

新東名高速道路 岡崎東 I C や国道473号バイパスの整備により国道1号と接続された名鉄名古屋本線本宿駅周辺は、重要な交通結節点となることから、岡崎市の東の玄関口としての新たなまちづくりの方向性を策定する。

まちづくり事業調査委託料 (12,000 千円)
本宿駅周辺の状況調査とまちづくりの検討案の策定



防災都市づくり計画策定業務 (予算額 8,921千円)		都市整備部都市計画課 計画班(23 - 6284)
財源内訳	一般財源 8,921千円	
支出内訳	8款5項1目 都市計画総務費 / 防災都市づくり計画策定委託料 8,921千円	

防災都市づくり計画では、地震災害に強い空間づくりと災害時の避難や応急活動を支える空間づくりに向けた具体的な取り組みを定めます。平成29年度は「震災復興都市計画の手引き」の作成と防災都市づくり実行プランの検討を行います。

防災都市づくり計画の策定経緯

- 平成26年度 災害危険度判定調査
- 平成27年度 防災都市づくり基本方針の検討
- 平成28年度 防災都市づくり計画案の作成
- 平成29年度 防災都市づくり計画の策定・実行プランの検討

震災復興都市計画

震災復興都市計画とは、震災発生により市街地が大規模に被災した場合などに、早急に市街地を復旧するための市街地整備事業などを円滑に進めることを目的として、住民との合意形成を図りつつ建築行為の制限を行いながら詳細な復興計画を定めることにより、迅速に事業実施へと繋げ、早期の震災復興を図るものです。

この震災復興都市計画を作成するための手続きや計画策定に必要な知識、技術基準、考え方などを事前に整理し、手引きとしてまとめます。

認定歴史的風致維持向上計画推進業務(予算額 101,989千円)

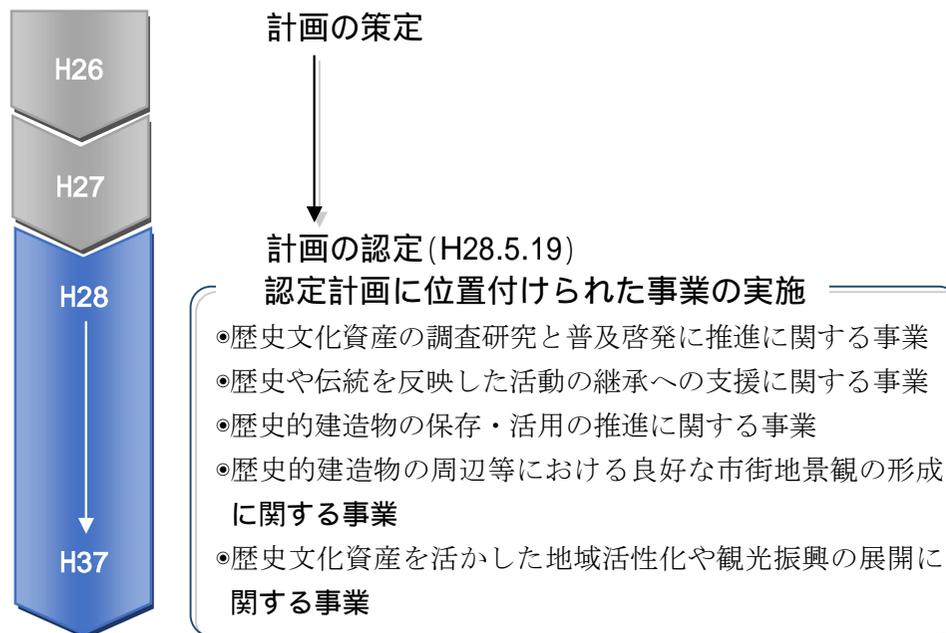
4課 4業務より認定
事業抜粋

都市整備部都市計画課
歴史まちづくり班(23 - 6522)

財源内訳	国支出金 18,136千円、財産収入 40千円、一般財源 83,813千円
支出内訳	<p>7款1項3目 中小企業対策費 / 伝統的工芸品産業産地振興事業費補助金 1,800千円</p> <p>8款5項2目 都市景観環境費 / 景観形成補助金 7,000千円、委員報酬 225千円、費用弁償 103千円、特別旅費 176千円、食糧費 5千円、印刷製本費 972千円、揮毫手数料 11千円、案内板設置実施設計委託料 7,560千円、歴史的風致形成建造物標識製作委託料 276千円、総構え位置表示整備方針策定委託料 4,979千円、まちなみ景観形成方針策定委託料 4,947千円、道路美装化整備方針策定委託料 7,366千円、認定歴史的風致維持向上計画管理支援委託料 4,968千円、画像使用料 23千円、歴史的風致形成推進事業費補助金 3,900千円</p> <p>10款2項1目 学校管理費 / 印刷製本費 1,836千円 10款3項1目 学校管理費 / 消耗品費 3,382千円</p> <p>10款4項5目 教育研究費 / 郷土読本「岡崎」編集委託料 75千円</p> <p>10款5項5目 文化財保護費 / 文化財調査等報償金 1,050千円、特別旅費 41千円、消耗品費19千円、印刷製本費 1,523千円、文化財保存事業費補助金 43,726千円、講師等報償金 217千円、食糧費 7千円、委員報償金 186千円、費用弁償 21千円、保存活用計画策定委託料 5,595千円</p>

「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」(通称:歴史まちづくり法)に基づき、国の認定を受けた「岡崎市歴史的風致維持向上計画」に位置付けのハード・ソフト両面の多様な施策や事業を、国の重点的な支援を得て計画的に進めていきます。

岡崎市歴史的風致維持向上計画スケジュール



実施事業

- 郷土読本作成
- 県指定無形民俗文化財「滝山寺鬼祭り」の調査
- 歴史や伝統を反映した活動の継承人の支援
- 整備方針策定
- 案内板設置実施設計
- 歴史的建造物保存修理・修景
- 旧額田郡公会堂及物産陳列所保存活用計画策定



鉄道駅バリアフリー化推進業務(予算額 13,395千円)

都市整備部交通政策室
公共交通班(23-6486)

財源内訳 一般財源 13,395千円

支出内訳 8款5項1目 都市計画総務費/測量設計委託料 5,983千円、西岡崎駅駐輪場整備工事請負費 2,362千円、
西岡崎駅バリアフリー化整備事業費補助金 5,050千円

1日の平均利用者数が3,000人以上ある西岡崎駅に、エレベーターや列車接近表示機などバリアフリー化の整備を交通事業者と一体となって進めます。

整備スケジュール

- H29年度 北口駐輪場造成工事、南口駅前広場測量設計
エレベーター設置設計費補助
- H30年度 駐輪場整備工事 エレベーター等設置工事費補助
- H31年度 エレベーター等設置工事費補助
- H32年度 駅前広場整備工事

期待される効果

高齢者や障がい者、ベビーカーの利用者などが、安全安心に移動でき、社会活動への参加が増えることで、活力ある都市づくりにつながります。



街路・道路新設改良事業(予算額 1,607,319千円) 矢作川右岸南北道路整備業務 始め12業務合算

土木建設部道路建設課
総務班 (23-6442)

財源内訳	国庫支出金 204,900千円、県支出金 10,000千円、雑入 420千円、市債 712,000千円、一般財源 679,999千円
支出内訳	8款3項3目 道路新設改良費 / 特別旅費 57千円、土地鑑定手数料 544千円、架線保全手数料 620千円、測量設計委託料 18,348千円、登記事務委託料 1,500千円、道路用地管理委託料 2,340千円、道路新設改良工事請負費 156,600千円、道路新設関連工事請負費 5,000千円、土地購入費 65,501千円、用水路移設補償金 23,760千円、電柱等移転補償金 6,200千円、事業損失補償金 500千円 8款5項3目 街路事業費 / 特別旅費 42千円、土地鑑定手数料 1,159千円、架線保全手数料 110千円、測量設計委託料 127,936千円、登記事務委託料 500千円、道路用地等管理委託料 7,938千円、街路改良工事請負費 290,897千円、道路用地等維持修繕工事請負費 1,000千円、土地購入費 875,279千円、街路改良工事負担金 20,088千円、電柱等移転補償金 1,400千円

都市計画道路、主要市道等の新設及び改良工事を行います。

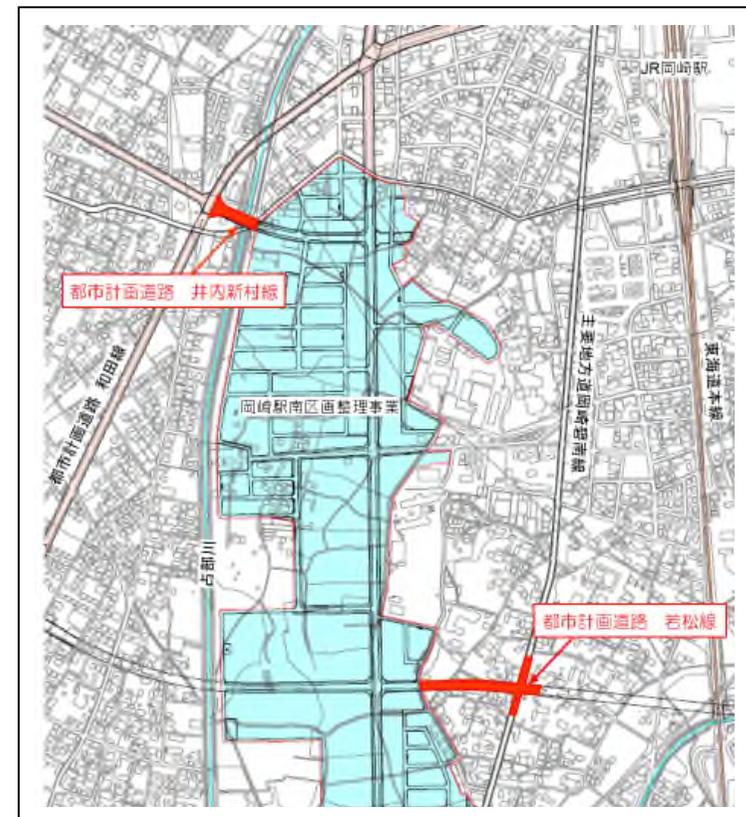
事業予定箇所

街路新設改良事業

- ・ 岡崎環状線
- ・ 井内新村線
- ・ 若松線

道路新設改良事業

- ・ 矢作川右岸南北道路
- ・ 仁木八反田5号線ほか2路線
- ・ 奥殿学校線ほか3路線
- ・ 中島岡崎天白線
- ・ 大幡赤坂線
- ・ 北野町線ほか1路線
- ・ 東奥洞七ツ池線



都市計画道路 井内新村線・若松線

道路整備・道路ストック点検修繕業務(予算額 1,425,903千円) 2業務合算

土木建設部道路維持課
総務班(23-6223)

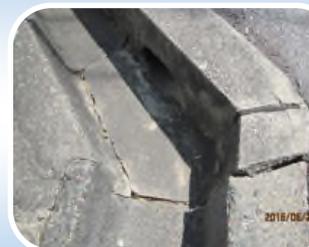
財源内訳 国庫支出金 124,618千円、県支出金 15,500千円、市債 242,000千円、一般財源 1,043,785千円

支出内訳 8款3項2目 道路維持費/道路測量設計委託料 10,210千円、道路整備工事請負費 1,278,960千円、測量設計委託料27,933千円、道路ストック修繕工事請負費108,800千円

岡崎市が管理する約2,130kmの市道について、老朽化等に伴う整備必要路線の整備工事を行い、安全・安心な通行及び利便性を図ります。

老朽化した道路の整備

各町内会からの要望書を基に、舗装および側溝等の老朽化について現地調査を行い、他の要望との優先順位を精査し、順次、整備を図っています。



生活環境・利便性の向上

歩道のバリアフリー化

地域の生活を支える生活道として重要な道路の歩道と車道との段差を減らすことにより、歩行者等の安全な通行と利便性を図ります。



快適な歩行空間の確保

道路ストック(道路構造物)の点検修繕

トンネル、道路舗装、大型道路標識、横断歩道橋、道路法面工・土工構造物等について、国の基準による点検を進め、結果に応じて必要な補修等を行い、経年劣化等から生じる危険な不具合を未然に防ぎます。



道路事故を未然に防ぐ

新規 岡崎公園周辺さくら再生業務(予算額 14,602千円)

都市整備部公園緑地課
計画班(23 - 6719)

財源内訳 一般財源 14,602千円

支出内訳 8款6項3目 緑化事業費 / 桜保全利活用計画策定委託料 9,807千円、 桜保全管理計画策定委託料 4,795千円



日本さくら名所100選に指定され、本市の貴重な景観・観光資源となっている岡崎公園、乙川、伊賀川につながるソメイヨシノの平均寿命は50～60年とも言われております。植樹後50年程度が経過し全体的に健全度が低下している状況であることから、桜並木等の保全・充実を図るため、保全利活用に向けた対策の計画と管理方法等を検討します。

東公園動物園管理運営業務(予算額 27,657千円)

保健部動物総合センター
動物2班(23 - 0456)

財源内訳	その他財源 11,005千円、一般財源 16,652千円
支出内訳	8款6項2目 公園費 / 嘱託員報酬 873千円、嘱託員共済費 132千円、講師等報償金 30千円、普通旅費 10千円、特別旅費 159千円、消耗品費 952千円、燃料費 295千円、食糧費 8千円、印刷製本費 378千円、機械器具修繕料 100千円、建物修繕料 400千円、工作物修繕料 500千円、自動車修繕料 135千円、飼料費 9,609千円、医薬材料費 953千円、通信運搬費 39千円、廃棄物処理手数料 1,000千円、自動車損害保険料 70千円、動物処置手数料 90千円、各種申請手数料 59千円、病理検査手数料 85千円、東公園動物園施設維持管理費(委託料) 4,520千円、看板製作委託料 141千円、動物園修繕工事請負費 2,055千円、動物園維持管理用材料費 271千円、庁用器具購入費 746千円、動物購入費 929千円、職員研修負担金 79千円、日本動物園水族館協会負担金 303千円、自動車重量税 7千円、継続契約集合支払特別会計繰出金 2,729千円

『事業概要』

市民に憩いの場および学習の場を提供するため展示動物の管理と各種体験イベントを実施しています。展示動物の飼育環境をより良くし、展示動物の種類・頭数を維持管理し、来園者に楽しんでもらえる魅力ある動物園の整備に努めてまいります。

サル舎ドライミスト設置工事

コンクリートで周りを囲った工法は建設当初一般的でしたが、夏暑く冬寒い環境は動物愛護の観点から好ましくないため、少しでも快適な環境を提供するため、ドライミストを設置します。



展示動物購入(ミニチュアホース)

動物園の人気者だったミニチュアホース「プリンスハルくん」が亡くなりました。人気のあるウマとのふれあい体験の継続とプリンスハルの子孫を残すよう、ミニチュアホースを購入します。



東公園整備業務(予算額 64,098千円)

都市整備部公園緑地課
技術班(23 - 6181)

財源内訳 繰入金 40,000千円、市債 19,000千円、一般財源 5,098千円

支出内訳 8款6項2目 公園費 / 測量設計委託料 3,000千円、公園整備工事請負費 60,098千円、電柱移設補償金 1,000千円

ゾウ舎改築工事 平成29年4月末 完成予定



南駐車場整備工事



動物園において、ゾウの飼育環境に配慮するためゾウ舎の改築工事を引き続き行うほか、南駐車場の整備に合わせて市道欠箱柳線の拡幅を行い、南駐車場と東駐車場を結ぶ道路環境の改善を図ります。また、希望の森において、トイレの改修を進めます。

岡崎中央総合公園整備業務(予算額 523,565千円)

都市整備部公園緑地課
管理班(23 - 6294)

財源内訳 繰入金 390,000千円、雑入 30,000千円、一般財源 103,565千円

支出内訳 8款6項2目 公園費 / 公園整備工事請負費 502,065千円、電柱設置工事負担金 20,000千円、地下ケーブル移設補償金 1,500千円

受変電設備改修・受変電棟新築工事



野球場 ラバーフェンス取替工事



公園（施設）利用者が安心・安全で快適な利用ができるように、野球場ラバーフェンス、テニスコート人工芝及び総合体育館消防設備について老朽化した施設の改修を進めます。

また、公園全体において、老朽化した受電設備の更新により安定した電力供給を行います。

新規	(仮)六供公園整備業務 (予算額 12,204千円)	都市整備部公園緑地課 技術班(23 - 6181)
財源内訳	一般財源 12,204千円	
支出内訳	8款6項2目 公園費 / 測量設計委託料 3,996千円、 公園整備工事請負費 8,208千円	

(仮)六供公園整備



六供配水場の一部を活用し、公園の充足を図るとともに、地域住民が楽しく安全に憩い、過ごすことのできる街区公園の整備を進めるため、公園の実施設計及び造成工事を行います。

乙川リバーフロント地区整備等推進業務(予算額 1,478,081千円) 2業務合算

都市整備部
乙川リバーフロント推進課
企画調整班(23-6490)

[予算額 乙川リバーフロント地区活用推進業務 170,649千円・乙川リバーフロント地区整備推進業務 1,307,432千円]

財源内訳	国庫支出金 467,415千円、市債 383,000千円、一般財源 627,666千円
支出内訳	8款5項1目 都市計画総務費 / 委員報酬 718千円、費用弁償 355千円、食糧費 18千円、印刷製本費 505千円、かわまちづくり運営支援委託料 41,587千円、かわまちづくり企画支援委託料 49,966千円、まちづくりデザイン策定委託料 67,500千円、泰平の祈りプロジェクト実施委託料 10,000千円 8款5項5目 拠点整備費 / 特別旅費 582千円、消耗品費 2,381千円、土地鑑定手数料 1,112千円、実施設計委託料 93,400千円、史跡調査委託料 5,500千円、整備推進支援委託料 18,000千円、木材加工委託料 59,488千円、間伐材調査調達委託料 50,000千円、電線共同溝設備工事委託料 113,400千円、施工監理委託料 12,172千円、会場使用料 15千円、木船借上料 200千円 乙川河川緑地施設整備工事請負費 189,000千円、乙川河川緑地人道橋整備工事請負費 371,391千円、乙川プロムナード整備工事請負費 175,000千円、艇庫施設整備工事請負費 4,000千円、電線共同溝整備工事請負費 189,000千円、職員研修負担金 68千円、まちづくり情報交流協議会負担金 30千円、電柱移設補償金 12,993千円、水道管移設補償金 9,700千円



乙川河川敷遊歩道 (左)

(仮称)乙川人道橋 (中)

堤防道路のプロムナード (右)

ハード事業 乙川の優れた景観と魅力的な水辺空間を活かした都市空間を創出するため、乙川河川敷の遊歩道や堤防道路のプロムナード、(仮称)セントラルアベニューとして中央緑道などの再整備や、(仮称)乙川人道橋の工事を進めます。

ソフト事業 観光産業都市創造の基盤となるインフラの再整備に合わせ、公共空間を活用した公民連携まちづくりを行います。その一つとして、かわまちづくり支援制度による乙川の水辺や河川敷での民間活用促進に向けたプロモーションや社会実験を進めます。かわまちづくりの軸として「泰平の祈りプロジェクト」を実施することで情報発信を行います。



まちづくりフォーラム (左)

かわまちづくり (殿橋テラス) (中)

泰平の祈りプロジェクト (右)

拡充	住宅・建築物耐震化事業費補助業務 (予算額 138,998千円)	建築部住宅課 耐震促進班(23 - 6254)
財源内訳	国庫支出金 69,498千円、 県支出金 27,824千円、 一般財源 41,676千円	
支出内訳	8款8項1目 住宅総務費 / 木造住宅耐震診断委託料 12,733千円、 住宅・建築物耐震化事業費補助金 126,265千円	

事業概要：昭和56年5月以前に着工した旧耐震基準の住宅・建築物の耐震化を支援します。

新規

【木造住宅耐震改修費補助】

- ・ 木造住宅の耐震改修費 1戸当たり上限 90万円補助
設計費：上限 10万円 + 工事費：上限 80万円



【木造住宅耐震改修費補助】

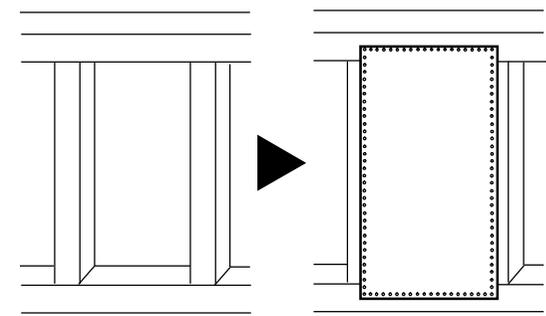
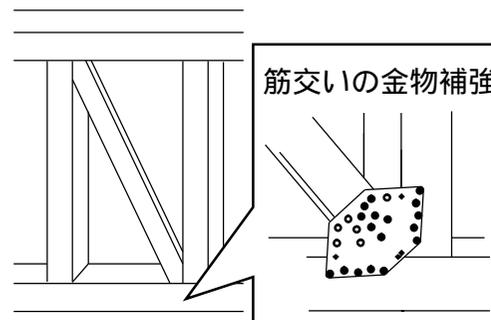
(上乗せ加算・平成29年度のみ)

- ・ 木造住宅耐震改修費補助事業に対して、
1戸当たり
上限 30万円上乗せ

木造住宅耐震改修費補助上限 90万円と合わせて、
合計 120万円の補助 になります。

【その他補助等】

- ・ 木造住宅無料耐震診断
- ・ 耐震シェルター整備費補助
- ・ 非木造住宅耐震改修工事費補助
- ・ 耐震診断義務化建築物耐震改修費補助 など



既存の壁

耐震補強壁

空家等対策推進業務 (予算額 1,677千円)		建築部住宅課 空家対策班(23 - 6024)
新規	危険空き家除却事業費補助業務 (予算額 4,000千円)	
財源内訳	国庫支出金 2,000千円、一般財源 3,677千円	
支出内訳	8款8項1目 住宅総務費 / 委員報酬 270千円、講師等報償金 147千円、費用弁償 69千円、特別旅費 139千円、食糧費 5千円、印刷製本費 103千円、統合型GIS運用保守委託料 141千円、統合型GIS更新委託料 674千円、職員研修負担金 129千円、住宅除却費補助金 4,000千円	

平成 27 年 5 月に完全施行された「空家等対策推進に関する特別措置法」に基づき策定する岡崎市空家等対策計画を推進することで、管理不全空き家の発生抑制及び利活用可能な空き家について有効活用を進めていきます。

空家等対策推進事業



管理不全空き家



適正管理空き家

空家等対策計画に基づく取組み

- ・ 空き家に関する相談窓口の一元化
- ・ 管理不全空き家の発生抑制
- ・ 空き家の利活用の促進
- ・ 特定空家等に対する措置

危険空き家除却事業費補助事業

- 罹災住宅除却費 1戸当たり最大20万円補助
- 不良住宅除却費 1戸当たり最大10万円補助

新規事業



除却後敷地の適正管理

市営住宅管理業務(予算額 256,593千円)

建築部住宅課
市営住宅班(23 - 6322)

財源内訳	特定財源 256,593千円
支出内訳	8款8項2目 住宅管理費 / 嘱託員報酬 2,646千円、嘱託員共済費 436千円、住宅管理報償金 2,345千円、特別旅費 16千円、口座振替手数料 277千円、口座振替データ作成手数料 223千円、弁護委託料 2,333千円、植栽管理委託料 1,944千円、登記用図面作成委託料 1,615千円、市営住宅施設維持管理費(委託料) 2,920千円、滞納整理委託料 2,962千円、市営住宅・特定公共賃貸住宅管理運営委託料 238,856千円、職員研修負担金 20千円

新たな取組 平成29年4月1日から、市営住宅の管理を指定管理者に委託します。

事業概要

- ・平成29年4月1日から、管理業務を指定管理者へ委託します。
- ・民間事業者のノウハウを活用することで、誰もが暮らしやすい市営住宅の実現に努めます。



指定管理者の業務

- ・入居申し込み受付
- ・入居者対応全般、家賃収納、施設修繕、維持管理等の 管理全般を行います。



- ・24時間受付のコールセンターを設置します。
- ・民間ノウハウを活かしたサービスを提供します。

【水道事業】原水及び浄水施設整備事業(予算額 623,072 千円)

上下水道局総務課
財務1班(23 - 6353)

財源内訳 工事負担金 25,099 千円、自己財源 597,973 千円

支出内訳 水道事業会計(資本的支出) 1款1項1目 原水及び浄水施設費 / 委託料 14,795千円、施設工事費 586,563千円、その他 21,714千円

老朽化した施設及び設備を更新します。

基本方針

老朽化した施設の更新

主な事業内容

日名水源送水場施設更新事業(392,243 千円)

- ・平成 28 年度～29 年度までの継続事業
- ・老朽化したポンプ室の築造及び電気機械設備の機器製作・据付



【水道事業】配水・給水施設整備事業(予算額 2,598,025千円)

上下水道局総務課
財務1班(23 - 6353)

財源内訳	企業債 455,000千円、他会計出資金 110,852千円、工事負担金 488,737千円、他会計負担金 23,000千円、県補助金 51,100千円、自己財源 1,469,336千円
支出内訳	水道事業会計(資本的支出) 1款1項2目 配水施設費/委託料 30,000千円、施設工事費 2,311,400千円、その他 96,924千円 1款1項3目 給水施設費/施設工事費 117,000千円、その他 42,701千円

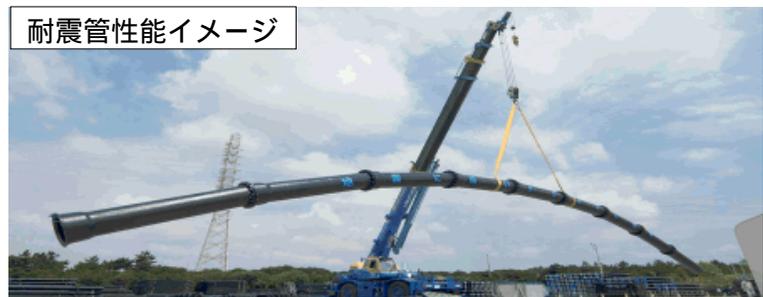
老朽化した水道管の更新及び重要給水施設への耐震化を行います。

基本方針

- ・配水管布設・布設替、铸铁管・塩化ビニル管布設替
- ・重要給水施設への水道管路耐震化

主な事業内容

- (1) 铸铁管布設替事業 (298,800千円)
 - ・錆が発生し赤水の原因となっている老朽化した水道管の布設替え
 - ・ 100～ 300、延長 2,030m
- (2) 塩化ビニル管布設替事業 (124,000千円)
 - ・耐震性が低く、漏水事故の影響が大きい老朽化した水道管の布設替え
 - ・ 75～ 150、延長 1,965m
- (3) 管路耐震化事業 (705,700千円)
 - ・中央総合公園始め6箇所の重要給水施設への水道管の耐震化
 - ・ 100～ 800、延長 2,603m



【水道事業】水道拡張事業(予算額 2,992,706千円)

上下水道局総務課
財務1班(23 - 6353)

財源内訳 企業債 582,500千円、他会計出資金 54,042千円、自己財源 2,356,164千円

支出内訳 水道事業会計(資本的支出) 1款1項4目 水道拡張費/委託料 40,850千円、施設工事費 2,883,573千円、その他 68,283千円

老朽化した施設の更新及び配水池の増量を行います。

基本方針

- ・ 男川浄水場の更新及び配水池の増量

主な事業内容

- (1) 北斗台低区配水場配水池増設事業 (425,973千円)
 - ・ 平成27年度～29年度までの継続事業
 - ・ 配水池の増設 (10,000 m³を13,400 m³へ)
 - ・ 配水池築造工事、場内整備工事等
- (2) 男川浄水場更新事業 (2,339,850千円)
 - ・ 平成29年度供用開始
 - ・ 老朽化した男川浄水場の更新



【下水道事業】汚水整備事業(予算額 980,100千円)

上下水道局総務課
財務2班(23 - 6304)

財源内訳 企業債 462,400千円、工事負担金 46,242千円、受益者負担金 102,270千円、国庫補助金 320,450千円、自己財源 48,738千円

支出内訳 下水道事業会計(資本的支出) 1款1項1目 管渠施設費 / 委託料 50,200千円、補償金 116,000千円、施設工事費 567,900千円
1款1項2目 ポンプ場施設費 / 施設工事費 246,000千円

下水道(汚水)の整備を進めます。(整備面積 約 21 ha)

汚水整備 (734,100 千円)

- ・整備予定延長 L 6,300m
- ・整備予定管渠 150 mm ~ 350 mm
- ・事業予定地域 岡町、筒針町、定国町、福岡町ほか

汚水中継ポンプ場 (246,000 千円)

【工 事】

- (1) 美合汚水中継ポンプ場増設工事 (206,000 千円)
 - ・ 11.8 m³/分 → 17.2 m³/分
- (2) 大西汚水中継ポンプ場増設工事 (40,000 千円)
 - ・ 8.5 m³/分 → 13.0 m³/分

岡崎市汚水適正処理構想に基づき、平成 28 年度に下水道事業計画を変更しました。今後も引き続き、汚水処理施設整備の早期概成を目指します。

【汚水処理施設整備の基本方針】

- ・ 将来の人口減少
- ・ 事業の採算性
- ・ 時間軸 (10 年間)



より一層の効率化を図りながら、下水道整備を進めていきます。



【下水道事業】雨水整備事業(予算額 2,135,976千円)

上下水道局総務課
財務2班(23 - 6304)

財源内訳	企業債 1,018,600千円、 他会計出資金 79,188千円、 工事負担金 45,000千円、 国庫補助金 993,188千円
支出内訳	下水道事業会計(資本的支出) 1款1項1目 管渠施設費 / 委託料 114,600千円、 補償金 25,000千円、 土地購入費 11,500千円、 施設工事費 787,200千円 1款1項2目 ポンプ場施設費 / 委託料 1,193,676千円、 施設工事費 4,000千円

浸水被害の軽減を図ります。

雨水管渠整備 (938,300 千円)

【設計】

八帖北幹線関連 実施設計業務 (68,500 千円)

- ・ 2,400 ~ 3,250 mm、 L 1,150m

【工事】

(1) 六名雨水ポンプ場流入渠築造工事 (268,000 千円)

- ・ 2,600 mm、 L 100m

(2) 中町幹線築造工事 (105,000 千円)

- ・ 1,350 mm、 L 75m

(3) 若松南幹線築造工事 (120,000 千円)

- ・ 1,700 mm x 1,700 mm、 L 160m

雨水ポンプ場整備 (1,197,676 千円)

【工事】

ポンプ場名	工事場所	工事期間	供用開始	施設概要				
				敷地面積 (ha)	排水区域 (ha)	排水能力 (m ³ /s)	台数 (台)	放流先
29年度予算								
福岡雨水ポンプ場	福岡町	H25 ~ H29	H30.4	約2,000	43.6	4.6	4	一級河川 砂川
925,676千円								
六名雨水ポンプ場	六名本町	H29 ~ H34	H35.4	約1,500	50.5	8	2	一級河川 乙川
102,000千円								



【下水道事業】下水道施設地震対策整備事業(予算額 477,300千円)

上下水道局総務課
財務2班(23 - 6304)

財源内訳 企業債 209,900千円、他会計出資金 11,880千円、国庫補助金 228,750千円、自己財源 26,770千円

支出内訳 下水道事業会計(資本的支出) 1款1項1目 管渠施設費 / 委託料 37,300千円、補償金 30,800千円、施設工事費 264,600千円
1款1項2目 ポンプ場施設費 / 委託料 144,600千円

耐震性能が低い下水道管渠及びポンプ施設の耐震化を図ります。

管 渠 (332,700 千円)

【設 計】

- (1) 重要な幹線等における管渠耐震診断業務 (27,700 千円)
 - ・ L 10,000m
- (2) 重要な幹線等における改築更新実施設計業務 (9,600 千円)
 - ・ L 1,000m

【工 事】

- (1) 地盤液状化が想定される箇所のマンホール浮上防止工事 (10,000 千円)
 - ・ N = 20 基



マンホール浮上防止工事の状況

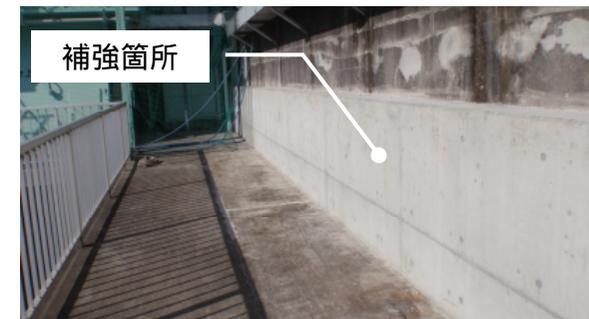
地震時に地下水をマンホールに導くための対策装置を設置し、周辺地盤の液状化を抑え、マンホールの浮上を防止します。

- (2) 重要な幹線等における管渠の改築による耐震化工事 (254,600 千円)
 - ・ L 2,330m

ポンプ場 (144,600 千円)

【工 事】

- (1) 大西汚水中継ポンプ場耐震補強工事 (64,000 千円)【28～29 年度】
- (2) 赤浜雨水ポンプ場耐震補強工事 (80,600 千円)【27～30 年度】



壁のコンクリート増し打ち状況

【下水道事業】下水道施設改築更新整備事業(予算額 1,444,100千円)

上下水道局総務課
財務2班(23 - 6304)

財源内訳 企業債 737,300千円、他会計出資金 68,830千円、国庫補助金 578,250千円、自己財源 59,720千円

支出内訳 下水道事業会計(資本的支出) 1款1項1目 管渠施設費 / 委託料 207,400千円、補償金 3,700千円、施設工事費 932,000千円
1款1項2目 ポンプ場施設費 / 委託料 301,000千円

老朽化した下水道管渠及びポンプ施設の長寿命化を図ります。

管 渠 (1,143,100 千円)

【調査・設計】

- (1) 老朽化が進行している管路の点検調査業務 (37,800 千円)
・L 9,800m
- (2) 優先度が高い管渠の改築更新実施設計業務 (84,600 千円)
・L 12,000m
- (3) スtockマネジメント計画策定支援業務 (85,000 千円)

【工 事】

- 管渠更生工による老朽管渠の改築工事 (932,000 千円)
・L 7,000m

ポンプ場 (301,000 千円)

【調 査】

- Stockマネジメント計画策定支援業務 (96,000 千円)

【工 事】

- (1) 大西汚水中継ポンプ場改築工事 (180,000 千円) 【28~29 年度】
- (2) 大門雨水ポンプ場改築工事 (25,000 千円) 【29~30 年度】

老朽管渠対策

戦前に整備されました管渠の早期改築を目指し、今後の急増する改築更新事業費に対応するため、老朽管渠対策を最優先課題と位置付け、計画的かつ継続的に取り組んでいきます。

工事前の老朽化した下水道管渠



(管口)

(管内：クラック)



改築更新された下水道管渠



(管口)

(管内)